

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ソフトウェアのインストールとアップグレード手順](#)

[出力例- uBR924 ケーブルモデム](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco uBR9xx シリーズをアップグレードする段階的な手順、および簡易ファイル転送プロトコル (TFTP) サーバまたはリモート コピー プロトコル (RCP) サーバ アプリケーションを使用して、「RAM 実行型」の Cisco ルータに Cisco IOS® ソフトウェアをインストールする方法について説明します。

前提条件

要件

1. TFTP サーバをインストールします。TFTP サーバまたは RCP サーバ アプリケーションを TCP/IP 対応ワークステーションまたは PC にインストールする必要があります。アプリケーションをインストールしたら、次の基本的な設定を行います。はじめに、TFTP クライアントではなく TFTP サーバとして動作するように、TFTP アプリケーションを設定する必要があります。次に、発信ファイル ディレクトリを指定する必要があります。このディレクトリは、Cisco IOS ソフトウェアのイメージを保存するディレクトリです (次のステップ 2 を参照してください)。ほとんどの TFTP アプリケーションには、このような設定作業用にセットアップルーチンが用意されています。注: 多数の TFTP や RCP アプリケーションが独立系ソフトウェア ベンダーから提供されており、ワールド ワイド ウェブで公開されているシェアウェアとしても入手可能です。次に、TFTP サーバをダウンロードします。使用できる TFTP サーバは数多くあり、インターネットの検索エンジンで「tftp server」を検索すると容易に見つけることができます。シスコでは、特定の TFTP の実装は推奨していません。
2. ワークステーションに [IOS イメージ](#) をダウンロードします。使用中のルータに有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージを導入しておくことも必要です。使用しているハードウェアとソフトウェアの機能がそのイメージでサポートされていることと、実行するのに十分なメモリがルータにあることを確認してください。Cisco IOS ソフトウェア イメージがない場合、または手元のイメージがすべての要件を満たしているかどうか分からない場合は、『[Cisco IOS ソフトウェア リリースの選択方法](#)』を参照してください。

これで、TFTP サーバがインストールされ、適切な Cisco IOS ソフトウェア イメージが入手できました。

[使用するコンポーネント](#)

この文書の情報は、次のソフトウェアバージョンに基づいています。

- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.2 以降。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

ソフトウェアのインストールとアップグレード手順

注: RCP アプリケーションの場合には、TFTP の部分をすべて RCP に置き換えます。たとえば、`copy tftp flash` コマンドの代わりに `copy rcp flash` コマンドを使用します。

次に示す手順に従ってください。

1. ルータへのコンソール セッションを確立します。これは、直接コンソール接続または仮想 Telnet 接続によって実行できます。直接コンソール接続の方が Telnet 接続よりも適しています。Telnet 接続はソフトウェアをインストールする際のリブートによって、接続が失われるからです。コンソール接続では、[ロール型ケーブル](#)（通常は黒のフラット ケーブル）を使用してルータのコンソール ポートと PC の COM ポートを接続します。PC 上でハイパーターミナルを起動し、次の設定値を使用します。
`Speed 9600 bits per second8 databits0 parity bits1 stop bitNo Flow Control`
2. TFTP サーバからルータへの IP 接続が確立されたことを確認します。TFTP サーバの IP アドレスを確認して、TFTP ソフトウェアをアップグレードするルータ/アクセス サーバのアドレスが同じ範囲内にあることを確認します。ルータ/アクセス サーバに ping を送信し、ネットワーク接続が存在していることを確認します。
3. 次の手順を使用して、TFTP サーバからルータ/アクセス サーバに新しいソフトウェア イメージをコピーします。`uBR924> enable Password: password uBR924# uBR924# copy tftp flash` 注: コンソール ポートを通じてルータに接続した後で、「>」または「rommon >」プロンプトが表示された場合、ルータは ROM モニタ (ROMmon) モードになっています。必要に応じて、デバイスから別のデバイスへ [イメージをコピー](#) できます。注: ルータ/アクセス サーバのソフトウェアをアップグレードする前に、ルータ/アクセス サーバの設定をコピーすることを推奨します。アップグレード自体は、不揮発性 RAM (NVRAM) に保存されている設定には影響しません。
4. TFTP サーバの IP アドレスを指定します。プロンプトが示されたら、次の例のように TFTP サーバの IP アドレスを入力します。`Address or name of remote host [255.255.255.255]? 172.16.30.40`
5. 新しい Cisco IOS ソフトウェア イメージのファイル名を指定します。入力を求められた場合は、次のように、インストールする Cisco IOS ソフトウェア イメージのファイル名を入力します。`Source file name? ubr920-k8v6y5-mz.122-3.bin` 注: このイメージの名前は、TFTP サーバ上のイメージのファイル名によって異なります。
6. コピー先のファイル名を指定します。このファイル名は、新しいソフトウェア イメージがルータにロードされたときに使用されるファイル名です。イメージには任意の名前を付けられますが、通常は UNIX のイメージ ファイル名を入力します。`Destination file name? ubr920-k8v6y5-mz.122-3.bin`

関連情報

- [Cisco IOS ソフトウェア リリースの選択方法](#)
- [Field Notice : Cisco IOS TFTP クライアントで、16MBを超えるサイズのファイルを転送できない](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)